

「南岸低気圧による雪 (5)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

今年の北軽井沢は、12月～1月はほとんど雪が降らず、2月に入ってからも、降雪らしい降雪は一回もなかった。



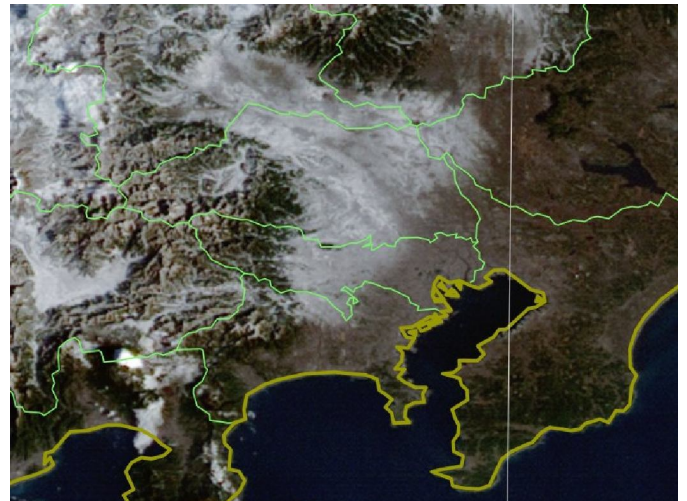
写真は2月9日の私の山荘の庭の様子(東京から遠隔観測)だが、テラスにはまったく雪がなく、庭の雪も「申し訳程度」にしか残っていない。ここ20年間で、こんなことは初めてだった。



しかし、今回の南岸低気圧の通過で、ついに事態が一変した。東京に大雪が予報された日の朝から、北軽井沢は雪になった。標高が約1100mの当地では、気温も-4℃以下だったので、降り始めからすぐに積もり始めた。最初に地面が真っ白になり、次いでテラスや屋根にも雪が積もり出した。ついでにカラマツの枝も落ちてきた。



都内と同様、午前中から午後にかけて急激に雪が激しくなり、夕方にはこんな様子になった。積雪深は10cm以上に達し、間違いなく今シーズン一番である。



写真は翌朝の関東地方の衛星画像(可視光)である。多摩地区から埼玉中西部にかけて延びている白い帯は、雲ではなく地上の積雪である。翌朝には、都内ではほぼ雪が消えていたことがわかる。



北軽井沢でも翌々日にはすっかり融けてしまった。やはり「記録的少雪」は更新のようである。